

県民だより



1 月号

編集・発行 栃木県企画部広報課

〒320-8501 宇都宮市埴田1-1-20

TEL 028-623-2159 FAX 028-623-2160



栃木から創る二十一世紀の日本

県民の皆さま、あけましておめでとう
ございます。

いよいよ二十一世紀がはじまりました。
私は、この大きな節目の時に、知事としてこれからの「とちぎ」づくりを担当することになり、責任の大きさを痛感しているところ です。皆さまの励ましやふるさとへの熱い思いを心に刻みながら、清新な県政を進め、ご期待に応えてまいりる決意です。

さて、私たちがこれから歩む二十一世紀初頭は、少子高齢化による人口構造の変化、環境問題への対応、経済のグローバル化、IT（情報通信技術）革命など、かつてない大きな変化の時代を迎えることとなります。

私は、このような時代の流れの中で、栃木県も大きな転換期を迎えていると考えておりますが、なによりも二〇〇万県民の皆さまの声を大切にしながら、「栃木から創る二十一世紀の日本」という気概を持って、県政を進めてまいりたいと考えています。

本年が県民の皆さまにとって、輝かしい時代の素晴らしいスタートの年となりますことをお祈り申し上げます、新年のごあいさついたします。

栃木県知事 福田昭夫

「全力投球で明日の栃木づくりを」

二十一世紀がスタートしました。私たちのふるさと栃木県も新しい歴史の第一歩を踏み出したと捉えています。

今回は新春にあたり、福田昭夫知事に、県政を担う抱負や、目標とするリーダー像、県政を進める上での方針などについて伺いました。

二十一世紀の栃木づくりを担うリーダーとして

いよいよ二十一世紀がはじまりました。私は、社会が共有する価値観やシステムが大きく変化しようとしている歴史的な節目に、知事として県政を担うことを痛感しています。

私が目標とするリーダー像は、四つの『シヨン』を兼ね備えたリーダーです。

アメリカの国務長官として活躍されたキッシンジャー博士の言葉なのですが、博士は、「世界の一流のリーダーには四つの『シヨン』がある」といっています。

一つはビジョン、理想・構想。二つ目はパッション、情熱。三つ目はディシジョン、これは決断力。四つ目がアクション、行動力です。理想を持ち、情熱を持って、柔軟な決断をして行動に移していくことのできるリーダーを目指して、努力していきたいと思っています。

「運営」から「経営」へ

私は、これまでの「県政を運営する」という言葉を、あえて「県政を経営する」という言葉に言

ということが重要だと言われています。こうしたことが要求される時代には、県庁という組織を、単に「運営する」だけではなく、計画的に、収支が成り立つようにする、まさに「経営する」ということが重要だと思っています。

こうした基本的な考えに立って、「七つの経営方針」を掲げたとことです。

情報を公開し、開かれた県庁を

まず一つ目は、何といっても情報公開です。情報を公開し、県民の皆さまと共有することが大切であると思います。これからは、情報をどんどん出していく時代ですね。

公約に掲げた知事交際費については、昨年の十二月末に、四月一日分からさかのぼって全面公開しました。個人のプライバシーに配慮して病氣見舞いの相手方氏名を除き、全て公開しています。この知事交際費の公開によって、情報公開の流れを大きな流れにしていきたいと思っています。

また、情報を公開しても、県民の皆さまが情報に接する機会がなければコミュニケーション

るいはこういう風に建て替えていくといった情報も、しっかりと説明することが必要だと思っています。県庁舎の建て替えは、見直しをしますが、そういった情報も公開しながら進めていきたいと思っています。

市町村を重視し意見交換を

三つ目は市町村の声を県政に反映させるということです。これからの地方分権の時代は、より住民に身近な行政を行う市町村に頑張ってもらわなくてはならない時代です。

これから地方分権の時代に検討が必要になって

い分野がたくさんあるんですね。やはり行政と、県民、NPO（民間非営利組織）、民間企業の皆さまが力をあわせてやっていかなくてはならない。そのために必要な仕組みを作ったり、規制緩和をしたりして、民間パワーを大いに活用していきたい、と思っています。

五つ目は、県民参加による自主性の高い県政の推進ということです。審議会などの委員は、これまで行政が指名する方が中心でしたが、公募制をさらに活用し、広く参加していただくような仕組みにしていきたいと思っています。

また、審議会の様子も積極的



市町村合併
てくる
に公開
していく

産業の振興、男女共同参画の促進といった今後の発展の基盤となる課題への対応や、教育、健康、県民生活に密着した社会資本の整備などの政策を推進していきたいと思っています。

また、今まさに、世の中が大きく変化しようとしています。これを踏まえた超長期ビジョンをつくり、今後の県政推進の指針としていきたいと考えています。

不断の行政改革

最後の経営方針は、不断の行政改革です。行政改革は、常に進めるべきものです。新しい視点と、改善していく姿勢で、取り組んでいきたいと思っています。今の日本の社会経済的な構造が大きく変わろうとしています。これを踏まえて、公共事業をどう進めていったらいいかをはじめ、政策として今までやってきたものの評価もしながら、スクラップアンドビルド（既存事業の改廃を前提とした事業の新設）を進めていこうと思っています。

新しい行政改革大綱に基づき、今後行政改革を進めていきますが、その中で、さらに中長期的な視点に立った見直しを行い、公共事業の見直し、あるいは知事の退職金の引き下げの問題や副知事の二人制など、そういったものも含めて、検討を進めていきたいと思っています。



と生きがいづくりを、積極的に進めていかなければと思っています。

未来に挑戦する県政を推進します

私は、選挙を通じて、県内各地でたくさんの方々の「栃木をもっと良くしたい」という情熱を感じることができました。

この情熱を心に刻み、栃木県の豊かな自然環境、恵まれた地理的条件、力強い産業活力をはじめとする潜在力と、二〇〇万県民の皆さまの力を結集して、「優しさ」と活力あふれるふるさと栃木の実現に向けて全力投球していく決意です。

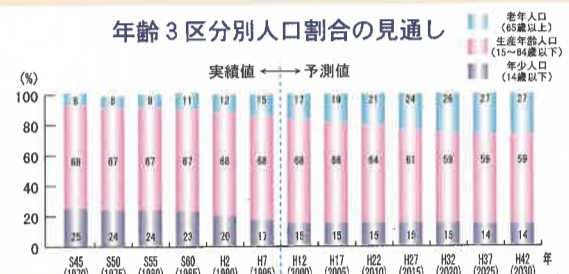
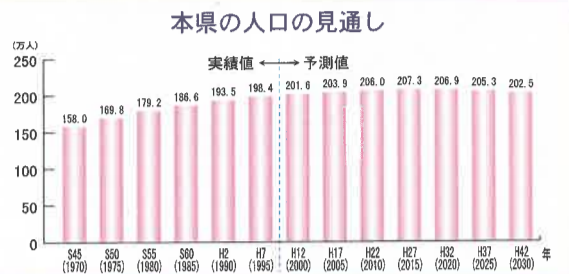
県民や県にとつて最良のものを選択し、何よりも「県民の意見」や「地域の意見」を聴きながら、未来に果敢に挑戦する県政を推進していきたいと考えております。

データで見る 21世紀の栃木

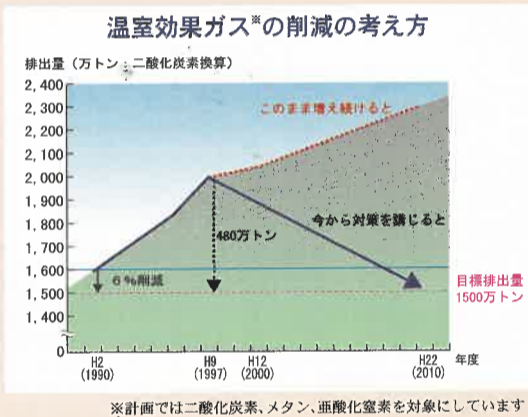
私たちが今まさに迎えた21世紀は、
どんな時代になるのでしょうか。
統計データなどから、いくつかの
近未来を探ってみました。

●人口のピークは 2016年

- 栃木県の人口は、21世紀に入ってから増え続け、2016年頃にピーク約207万3千人を迎え、その後ゆるやかに減少に向かうと予測されます。
- 少子高齢化が急速に進行、2020年には県民4人に1人は高齢者になると予測されています。



●温室効果ガスを 2010年度に6%削減



- 県では、2000年3月に策定した地球温暖化対策地域推進計画で、2010年度の温室効果ガスの排出量を1990年度に比べ6%削減することを目標に設定しました。私たちが力をあわせて、美しい地球を美しいままに、子どもたちへ手渡していきましょう。

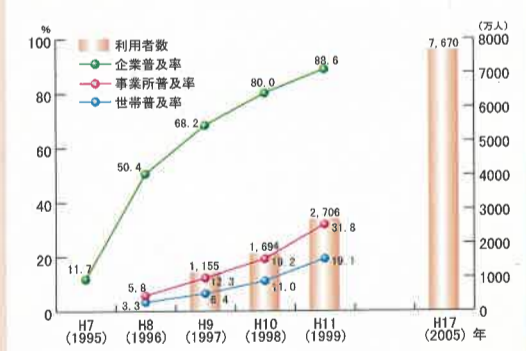


●世界が、広がる。もっと世界が近くなる

- インターネットの普及は急速に進み、全国の利用者数は、2005年には7,670万人、全人口の3分の2近くになると予測されています。電話やテレビと同じくらいにパソコンが普及する日も遠くありません。栃木にいながら、世界と仕事をして、世界で遊べる、それどころか、宇宙にでかけることだってできるようになるかも？



我が国におけるインターネットの普及率



※1 事業所は全国の(郵便業及び通信業を除く。)従業者数5人以上の事業所。
 ※2 企業は全国の(農業、林業、漁業及び鉱業を除く。)従業者数300人以上の企業。
 資料:「通信利用動向調査」(郵政省)、「生活の情報化調査」により作成

●海へ、世界へ、続く道。 北関東自動車道



- 群馬県高崎市から茨城県ひたちなか市までの約150 km。県内ではすでに栃木都賀JCTから宇都宮上三川ICまでが開通。東北道などと接続し日本中へのアクセスが強化されます。そして、なにより海へ！世界へ！計り知れない経済効果が期待されます。県都宇都宮から、約1時間で海へ行ける日ももうすぐです。



い換えました。昨年四月から
地方分権一括法が施行されま
したが、地方分権時代のキーワ
ードとして、自己責任、自己決定

を深めるのは難しい話です。で
すから、広報広聴を徹底するの
はもちろん、説明責任をしっかりと
り果たし、開かれた県庁を構築
することが必要です。

これが経営方針の二つ
目です。
例えば、今回の選挙
では県庁舎の建て替え
の問題が争点になりま
した。建て替えの議論
を進めてきた方たちは
必要性などを十分理解
して進めてきたと思っ
ます。しかし、建て替
えの情報を知らない方
が多いんですね。その
方たちにとっては、な
ぜ今の不況の時にとい
う思いが強いわけです。
建て替えの理由や、あ

の問題なども
ありますので、そ
ういったことも含めて、
それぞれの市町村の課題や夢を
自由に意見交換できるようにし
たいですね。年に一度開催され
ている市町村長会議の他に、プ
ロックごとに市町村長との意見
交換の場を設けるなど、市町村
と緊密な連携をとっていきたく
と思っています。

民間パワーを大いに活用、 自主性の高い県政を

民間のパワーを活用する、そ
れが四つ目の経営方針です。た
えば福祉、環境、あるいは青
少年の健全育成の分野でも、行
政だけ、民間だけが一生懸命や
ってもなかなか効果の上がらな
い問題なども
ありますので、そ
ういったことも含めて、
それぞれの市町村の課題や夢を
自由に意見交換できるようにし
たいですね。年に一度開催され
ている市町村長会議の他に、プ
ロックごとに市町村長との意見
交換の場を設けるなど、市町村
と緊密な連携をとっていきたく
と思っています。

総合的な計画行政を

六つ目の経営方針は、財源に
は限りがありますので、計画的に、
総合的に、県政を推進していく
ということでは
ありません。こ
の計画は、二十一世紀の本県
の将来像と取組の方向性を皆さ
まと共有し、共に行動する指針
です。この計画に基づいて、少
子化対策や、活力ある長寿社会
の実現、資源循環型社会づくり、

少子化、高齢化への対応



12月11日 福田知事 初登庁

皆さまのご理解とご協力をよ
ろしくお願いいたします。

マロニエ ガイト



花 歳 時 記

サザンカ (ツバキ科)

唱歌「たき火」の中に登場するサザンカは何色なのでしょう。園芸種では赤・ピンクなど様々ですが、自生地の四国・九州では白色のみ。当て字で山茶花とは、音と意味と、まさに言い得て妙です。

ウォッチングポイント

冬の数少ない観賞用花木。庭木や垣根、公園樹木にと大変人気があります。学名はCamellia sasanqua。

県子ども総合科学館

- パラエティサイエンス●1月27日(土)・28日(日)①午前10時30分～②午後1時30分～③午後3時30分～※要入館券●身近な素材を利用して簡単にできる工作や楽しい実験を行います
- パレタインスペシャル「Love Songs」(プラネタリウム特別番組)●2月10日(土)・11日(日)午後3時～※要プラネタリウム観覧券●美しい星空の下、素敵な音楽を聴きながら、一足早いパレタインを過ごしてみませんか
- 天文台公開●2月12日(月)午後1時～●無料
- 天体観望会●2月17日(土)午後7時～●無料
- 問合せ ☎028-659-5555
〒321-0151 宇都宮市西川町567

県立美術館

- 栃木県美術の20世紀II 千年の扉 前期●2月4日(日)まで●県内在住の作家を中心とした県内美術の現在を紹介しています。日本画・工芸・書を前期に、洋画・彫刻・写真を後期(2月17日～)に展示します。20世紀の栃木県美術の現状を展覧することで、21世紀を展望いただけたと思います
- 島岡達三
掛軸 緋文象嵌大皿
2000年
- 問合せ ☎028-621-3566
〒320-0043 宇都宮市桜4-2-7

県立博物館

- 観察会「地層を調べよう」●1月28日(日)午前9時30分～午後3時30分●田沼町唐沢山現地集合●申込み 往復ハガキで1月17日(水)必着
- テーマ展「依藤太物語絵巻」●3月31日(土)まで
- 講座「依藤太物語の世界」●1月25日(木)午後1時30分～●電話申込み
- 三上山の百足を
退治する
依藤太を
- 「依藤太物語
絵巻」から
- 問合せ ☎028-634-1312
〒320-0865 宇都宮市睦町2-2

県総合文化センター

- とちぎ舞台芸術アカデミー2000〔古典芸能部門〕『狂言・万作の会』●2月2日(金)午後6時30分開演●チケット残りわずか!
- 第3回フレッシュ・フルーツ&フラワーコンサート●2月17日(土)午後4時開演●美しい花々の中でコンサート・マロニエ21入賞者演奏会
- 問合せ ☎028-643-1010
〒320-8530 宇都宮市本町1-8

県政



催し

- 緑の相談所の催し
【中央公園☎028-636-7621】◎講座「盆栽の手入れⅡ」●1月28日(日)午前10時～11時30分●受講無料●定員 50名●電話申込み
- 【井頭公園☎0285-82-4475】◎第14回栃木県都市公園写真コンクール作品展●1月18日(木)～28日(日)
- 【那須野が原公園☎0287-36-1220】◎日本の名園写真展●2月1日(木)～12日(月)
- 【みかも山公園☎0282-55-7733】◎講座「春夏の庭木の手入れ」●2月4日(日)午前10時～正午●受講無料●定員 30名●電話申込み
- 第4回とちぎ花フェスタ
●2月9日(金)～11日(日)午前9時30分～午後4時30分(最終日は午後4時まで)●会場 マロニエプラザ(宇都宮市)●内容 ガーデニング、花・山野草・ハーブ等の展示、園芸講座(2月9日 江尻光一氏)、花の無料相談・展示即売他●入場料 大人500円、小・中学生250円●問合せ 県生産振興課☎028-623-2329
- 早春コンサート～びあのとトーク
●2月10日(土)午後1時30分開演●会場 とちぎ女性センター(宇都宮市)●内容 ふじさきゆ

募集

- きこさんのピアノ演奏と岡本由利子さん(作曲家)との音楽と女性についてのトーク※コーヒーサービス付●入場料 1,500円(同センター他で発売中)●託児あり(1月27日(土)までに要予約)●問合せ 同センター☎028-665-7706(月曜休館)
- 栃木県育英会奨学生及びび学生寮入寮者の募集
◎奨学生●対象 一般奨学生:4月から高校・大学・短大に進学希望の方、青木奨学生:4月から大学医学部に進学希望の方
◎入寮者●所在地 東京都目黒区大橋2-20-10●対象 4月から大学・短大・修業年限2年以上の専修学校専門課程に進学希望の方●募集人員 男子約30名、女子約70名
◎申込締切 2月5日(月)◎問合せ (財)栃木県育英会事務局☎028-623-3459
- 高等産業技術学校技能講習
●対象 会社などにお勤めの方●受講料 4,820円(マーケティング概論は 3,430円)
【県北校☎0287-64-5454】◎マーケティング概論(ホテルマーケティング)●2月6日(火)～8日(木)◎フロント接客講習●2月13日(火)～15日(木)◎レストラン接客講習●2月20日(火)～22日(木)
【県南校☎0284-91-0803】◎マシニングセンター入門●2月6日(火)～8日(木)
- 福祉職体験学習会
●対象 福祉職を希望する方、福祉に関心の方

案内

- 不動産取引紛争相談
●2月6日(火)、2月27日(火)、3月16日(金)いずれも午後1時30分～4時●会場 埴田会館(宇都宮市)●内容 宅地建物取引業者と行った売買等についての相談●相談無料●事前申込み●問合せ 県住宅課☎028-623-2488
- 出会い、ふれ合いの集い
●3月11日(日)午前9時30分～午後3時●会場 とちぎ福祉プラザ(宇都宮市)●対象 結婚を希望する方30名(健康者、障害者問わず)●参加無料●申込締切 2月10日(土)●問合せ 栃木県身体障害者総合相談所☎028-623-6353(土・日・水曜日の午前10時～午後3時)
- 栃木障害者職業センターのご案内
◎障害者のパソコン講習●2月22日(木)～3月19日(月)●内容 パソコンの基本操作を修得し、就職を目指します●参加無料◎障害者の雇用管理サポート●障害者を雇用している事業所、新たに雇用を検討している事業所に専門家がアドバイスします●無料◎問合せ 栃木障害者職業センター☎028-637-3216

栃木県の広報番組

- 【とちぎテレビ】
- とちぎ情報局
●木曜日22:00～22:45◎日曜日8:30～9:15
1月18日 願いを乗せて駆ける絵馬
1月25日 テコ〜できつべな!!〜
2月 1日 まちに託された宝物 広重美術館
2月 8日 佐野に生きる際師の技
2月15日 冬の道草〜ボクらアジア探検隊
- 【テレビ東京】
- とちぎウォッチング
●毎月最終月曜日15:55～16:00
1月29日 鎌倉幕府を支えた下野の名家
〜鎌倉時代に活躍した小山・那須・宇都宮一族を紹介します
◎問合せ 県広報課☎028-623-2190

～番組のお知らせ～

栃木の魅力をまるごと紹介!!

～今日はとちぎと栃木県～
おっい、ニッポン

- NHK衛星第2テレビ(BS2)
- 放送日 1月28日(日)10:00～19:00
- 知られざる日本〜やお宝がいっぱいの栃木県を、皆さまの笑顔とともに紹介します

IT講習が始まります

私たちの社会は、「IT(情報通信技術)」をめぐる急激に変化しています。

「IT」という日常生活からかけ離れているようですが、インターネットで情報を集めたり、携帯電話で連絡をとったりすることも「IT」のおかげといえます。

県では、県民の皆さまにパソコンやインターネットに親しんでいただくこと、県内全市町村と協力して「IT講習」を実施します。4月からの1年間、8万6千人の方に受講いただくことを予定しています。

講習は...

- どんなことが学べるの? パソコンの基本的な操作、文書作成、インターネット・電子メールなど基本的な技能を12時間程度で学びます。
- 誰でも受講できるの? 県内にお住まいの20歳以上の方なら、どなたでも受講できます。
- 費用はかかるの? 受講料は無料ですが、テキスト代金は負担していただきます。
- どこで受講できるの? 県や市町村の施設(公民館や図書館、庁舎など)、民間の施設など身近な会場で受講できます。

※県では、一部先行して3月から実施します。
※日程・会場・申込方法などは、新聞・広報紙などで随時お知らせしていきます(3月実施分については、2月1日新聞掲載の「県政だより」または2月15日発行の本紙でお知らせする予定です)。
◇問合せ 県情報管理課☎028-623-2215



インターネット博覧会開催中!

2000.12.31～2001.12.31

インターネット博覧会が始まりました。国や地方自治体、企業などが独自のパビリオンを展開しています。栃木県のテーマは「世界遺産めぐり」。「日光の社寺」を中心に、国内外の世界遺産を紹介しています。

パビリオンにはこんなコーナーがあります!

- ケーススタディ 日光の社寺
「日光の社寺」とその参道「日光杉並木街道」を再現します。
- 世界遺産ミーティング
毎月1つのテーマについてネット上で話し合います。専門家とともに、あなたも参加できます。チェアマンは筑紫哲也氏。
- 世界遺産リポーター
あなたの疑問・質問などを、リポーターが現地で調査し、報告します。
- 世界遺産ペーパークラフト
世界遺産をモデルとしたペーパークラフトを自分で組み立てられます。
- 世界遺産のすべて
世界遺産条約の成り立ち、背景、課題など、世界遺産の真の姿を解説します。
- 世界遺産プラザ
掲示板など、みなさんが気軽に集えるコーナーです。

<http://www.inpaku.go.jp/tochigi/>

◇問合せ 県文化財課☎028-623-3425



見て、触れて、作って、知って、世界遺産を楽しんでください。ご来場お待ちしております。